

# 府民の森ほしだ園地探鳥会

(毎月第4土曜日 両園地通算第261回)

令和4(2022)年11月26日(土) 9:30～15:00頃

日本野鳥の会大阪支部 平軍二(090-6901-1425) 友田武・神戸徹・近藤輝男・沖光二

## 1. 交野の鳥シリーズ(111) ハヤブサ

### 1. 日本野鳥の会大阪支部による「ほしだ園地」「くろんど園地」探鳥会の経緯

日本野鳥の会大阪支部では2000年1月より、奇数月くろんど園地、偶数月ほしだ園地で定例探鳥会を開催しました。平が万博公園探鳥会でお世話になったことのある大阪府職員Y氏が、当時両園地など大阪府民の森を管理していた「大阪府みどり公社」に出向され、両園地でも万博公園探鳥会のような形での定例観察会を開催してほしいと依頼されました。

私は吹田市に住んでいたもので、その頃のほしだ園地・くろんど園地のことを全く知りませんでしたが、大阪支部会員であった交野野鳥の会の平(たいら)研(みがく)氏に面識があったので、両園地の鳥についてお聞きするとともに、交野野鳥の会のご協力をお願いし、スタートしました。



2012年 岩棚上でのハヤブサ雛成長状況(河村壽氏)

その頃まだ、ほしだ園地でのハヤブサ繁殖はなく、くろんど園地を通過するムギマキのことも知らなかったため、奇数月くろんど園地、偶数月ほしだ園地で定例探鳥会を開催した。

先月の探鳥会資料に書いたように、その後、

①ほしだ園地でハヤブサの営巣が始まり、ハヤブサ・ヒナの観察適期が5月下旬

②くろんど園地のカラスザンショウにムギマキがくることがわかり観察適期が10月下旬

とわかり、2019年に両園地の開催月を入れ替え、ほしだ園地を奇数月、くろんど園地偶数月とした。

### 2. ほしだ園地でのハヤブサ繁殖の経緯と、岩棚周辺の樹木伐採

ほしだ園地のハヤブサについて、河村壽氏の私信によると2003年から交尾など繁殖兆候が確認されていたようですが、「交野野鳥の会30年の歩み(2010年発行)」には2005年から繁殖し始めたと記載されている。

ところが2019年までは右写真のように子育てをしたが、2020年・2021年と繁殖しなかった。この原因としてハヤブサ繁殖箇所である「お立ち台」と称している岩棚周辺の木が密になり大きくなり、裸地を好むハヤブサ繁殖に適さなくなったことが予想された。

2021年度の繁殖が期待できないとわかったことから、交野野鳥の会(渡辺氏・神戸氏・河村氏ほか)メンバーを中心に相談した結果、大阪府に対し、交野野鳥の会会長名(神戸徹氏)で岩棚周辺の木の伐採をお願いした。



岩棚上に雛4羽(20190519)

大阪府は当初樹木伐採ができないと、いろいろ理由付けし反対されたが、粘り強く交渉の結果、ようやく2022年度に予算計上され、2022年秋に樹木伐採を行うことが、決定した。



樹木伐採前↑



↑樹木伐採直後

ほしだ園地岩棚周辺(20221115)河村壽氏



その岩棚の樹木伐採は、河村氏から交野バードへの写真報告の通り **11/15 に実施**された。今日は、その樹木伐採後の状況を、確認したいと思っている。

ハヤブサは 400m ほど離れた送電線から見張っているとのこと、**来年 2 月には交尾が始まり、抱卵→雛誕生→育雛と、4 年ぶりの子育てを確認**できるものと、楽しみにして待ちたい。

←送電線から見張るハヤブサ(20221118)河村壽氏

## 2. 先々月・先月の両園地の探鳥会結果

**2022/9 ほしだ園地** 何時も鳥の多い私市集落～星の里いわふねまではイソヒヨドリ・ツバメ・コシアカツバメ(群)などがでたものの、山地に入ってからには静かになり、ヒヨドリ・ハシブトガラスの鳴き声だけでした。タカが飛ぶことを期待し資料にサシバ・ハチクマを入れたが、1羽飛んだものの遠すぎて種名が判らなかった(タカ SP)。渡りの小鳥(コサメ・エゾビタキ、キビタキ等)も全くでないまま、留鳥もヤマガラ・エナガ・シジュウカラ・メジロが出たのみだったので、帰り道でカワセミが出てほっとした。トータル 20 種になったが、1羽ずつの種が多く、個体数が 85 羽にとどまった。

**2022/10 くらんど園地** 私市駅前スタートからくらんど園地入り口(すいれん池)まで、シジュウカラ、ヒヨドリ、ハシブトガラスしか出なかったのが、久しぶりにくらんど池(奈良県生駒市)経由としたが、くらんど池で毎冬観察できるヨシガモ・オオバンは渡来しておらず、小鳥もモズの高なき聞いたのみだった。幸い、くらんど園地へ戻る途中の小さな池でコガモ、そしてアトリとエナガの群が観察できた。くらんど園地内に戻ってキャンプ場炊事棟2の広場前の大きなカラスザンショウの木はまだ実が熟しておらず小鳥は来ていなかったが、炊事棟近くの小さなカラスザンショウではキビタキ雌が観察された。



ムギマキ(日比野義隆氏)

昼食しながら待つムギマキが出ないので、奥のカラスザンショウ樹林に行ったところ、ムギマキ(雄・雌・雄幼鳥)、キビタキ(雄・雌)、コサメビタキ、エゾビタキ、メジロなどが次々姿を見せ、カラスザンショウの実を求め飛び回った。今年は前日まで、ムギマキが確認されていなかったこともあり、観察できるかどうか心配しながらスタートしたが、大満足で終了することができた。

### 3. ハヤブサは国内希少野生種にリストアップ

絶滅のおそれのある野生動植物種の保存に関する法律（種の保存法）に基づき、国内に生息・生育する絶滅のおそれのある野生生物で、人為の影響により存続に支障を来す事情が生じていると判断される種(または亜種・変種)が「国内希少野生動植物種」に指定されている。**2022年1月現在、国内希少野生動植物種は427種（鳥類は45種）。**ハヤブサはリストアップされているが、愛知万博で有名になったオオタカは、個体数が増えたとして2017年に指定リストから外れました。大阪府内でのハヤブサ繁殖は4～5か所、その内繁殖中の雛や若鳥が観察できるのは、**泉大津(ホテル)とほしだ園地**である。このような**希少鳥ハヤブサが、いつまでもほしだ園地で繁殖し続けるよう、見守ってきたい。**

	科名	種名	学名	施行年月	保護増殖事業計画 (策定年)
1	カモ科	シジュウカラガン	Branta hutchinsii leucopareia	平成5年4月	
2	ウミスズメ科	エトピリカ	Fratercula cirrhata	平成5年4月	○(平成13年)
3	ウミスズメ科	ウミガラス	Uria aalge inornata	平成5年4月	○(平成13年)
4	シギ科	ヘラシギ	Eurynorhynchus pygmeus	平成29年9月	
5	シギ科	アマミヤマシギ	Scolopax mira	平成5年4月	○(平成11年)
6	シギ科	カラフトアオアシシギ	Tringa guttifer	平成5年4月	
7	コウノトリ科	コウノトリ	Ciconia boyciana	平成5年4月	
8	トキ科	トキ	Nipponia nippon	平成5年4月	○(平成5年)
9	トキ科	クロツラヘラサギ	Platalea minor	令和2年2月	
10	ハト科	キンバト	Chalcophaps indica yamashinai	平成5年4月	
11	ハト科	アカガシラカラスバト	Columba janthina nitens	平成5年4月	○(平成18年)
12	ハト科	ヨナグニカラスバト	Columba janthina stejnegeri	平成5年4月	
13	タカ科	イヌワシ	Aquila chrysaetos japonica	平成5年4月	○(平成8年)
14	タカ科	オガサワラノスリ	Buteo buteo toyoshimai	平成5年4月	
15	タカ科	チュウヒ	Circus spilonotus spilonotus	平成29年9月	
16	タカ科	オジロワシ	Haliaeetus albicilla albicilla	平成5年4月	○(平成17年)
17	タカ科	オオワシ	Haliaeetus pelagicus	平成5年4月	○(平成17年)
18	タカ科	クマタカ	Nisaetus nipalensis orientalis	平成5年4月	
19	タカ科	カンムリワシ	Spilornis cheela perplexus	平成5年4月	
<b>20</b>	<b>ハヤブサ科</b>	<b>ハヤブサ</b>	<b>Falco peregrinus japonensis</b>	<b>平成5年4月</b>	
21	キジ科	ライチョウ	Lagopus muta japonica	平成5年4月	○(平成24年)
22	ツル科	タンチョウ	Grus japonensis	平成5年4月	○(平成5年)
23	ホオジロ科	シマアオジ	Emberiza aureola ornata	平成29年9月	
24	クイナ科	シマクイナ	Coturnicops exquisitus	令和2年2月	
25	クイナ科	ヤンバルクイナ	Gallirallus okinawae	平成5年4月	○(平成16年)
26	アトリ科	オガサワラカワラヒワ	Chloris sinica kittlitzii	平成5年4月	○(令和3年)
27	ミツスイ科	ハハジマメグロ	Apalopteron familiare hahasima	平成5年4月	
28	モズ科	アカモズ	Lanius cristatus superciliosus	令和3年1月	
29	ヒタキ科	オオセッカ	Locustella pryeri pryeri	平成5年4月	
30	ヒタキ科	アカヒゲ	Luscinia komadori komadori	平成5年4月	
31	ヒタキ科	ホントウアカヒゲ	Luscinia komadori namiyei	平成5年4月	
32	ヒタキ科	アカコッコ	Turdus celaenops	令和2年2月	
33	ヒタキ科	オオトラツグミ	Zoothera dauma major	平成5年4月	○(平成11年)
34	ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ	Pitta nympha	平成5年4月	
35	ウ科	チシマウガラス	Phalacrocorax urile	平成5年4月	
36	サギ科	オオヨシゴイ	Ixobrychus eurhythmus	令和2年2月	
37	キツツキ科	オーストンオオアカゲラ	Dendrocopos leucotos owstoni	平成5年4月	
38	キツツキ科	ミユビゲラ	Picoides tridactylus inouyei	平成5年4月	
39	キツツキ科	ノグチゲラ	Sapheopipus noguchii	平成5年4月	○(平成10年)
40	アホウドリ科	アホウドリ	Phoebastria albatrus	平成5年4月	○(平成5年)
41	ウミツバメ科	クロコシジロウミツバメ	Oceanodroma castro	平成31年2月	
42	ミズナギドリ科	オガサワラヒメミズナギドリ	Puffinus bryani	平成31年2月	
43	ミズナギドリ科	セグロミズナギドリ	Puffinus lherminieri bannermani	令和2年2月	
44	フクロウ科	ワシミミズク	Bubo bubo borissowi	平成9年12月	
45	フクロウ科	シマフクロウ	Ketupa blakistoni blakistoni	平成5年4月	○(平成5年)

**次回探鳥会 2022/12/24 くらんど園地 9:30～15:00 頃**

今日と同様、大阪支部 HP でお申し込みくださるよう、お待ちしております。

## 4. 今日観察した鳥

科名	種名	年 月 日	2021			2022		
			10	11	12	10	11	12
			23	27	25	22	26	24
回数 No	No	く	ほ	く	く	ほ	く	
		ろ	し	ろ	ろ	し	ろ	
		ど	だ	んど	んど	だ	んど	
		253 モニ	254	255	260	261	262	
キジ	ヤマドリ	4						
キジ	キジ	5						
カモ	ハクチョウSP	19						
カモ	オシドリ	24						
カモ	ヨシガモ	27						
カモ	ヒドリガモ	28						
カモ	マガモ	30						
カモ	カルガモ	32						
カモ	ハシビロガモ	34						
カモ	コガモ	38			2			
カモ	ホシハジロ	42						
カイツブリ	カイツブリ	62						
ハト	キジバト	74	4	1	2	2		
ハト	アオバト	78						
コウノトリ	コウノトリ	119						
ウ	カワウ	127						
サキ	ゴイサギ	139						
サキ	ササゴイ	141						
サキ	アオサギ	144						
サキ	ダイサギ	146						
サキ	コサギ	148						
クイナ	バン	174						
クイナ	オオバン	175						
カッコウ	ホトトギス	185						
カッコウ	ツツドリ	187						
アマツバメ	アマツバメ	192						
アマツバメ	ヒメアマツバメ	193						
チドリ	ケリ	195						
チドリ	コチドリ	203						
シギ	イソシギ	244						
ミサコ	ミサゴ	339						
タカ	ハチクマ	340						
タカ	トビ	342			1			
タカ	ツミ	354						
タカ	ハイタカ	355		1				
タカ	オオタカ	356	1					
タカ	サシバ	357						
タカ	ノスリ	358			2			
カワセミ	カワセミ	383						
キツツキ	コゲラ	390	2	2	4	5		
キツツキ	アカゲラ	393						
キツツキ	アオゲラ	397						
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401						
ハヤブサ	ハヤブサ	407	1					
サンショウクイ	サンショウクイ	412						
カササギ	サンコウチョウ	418						
モズ	モズ	420	1			2		
カラス	カケス	427						
カラス	ハシボソガラス	435	1		2			
カラス	ハシブトガラス	436	16	10	9	3		
カラス	キクイタダキ	438						
シジュウカラ	コガラ	441						
シジュウカラ	ヤマガラ	442	6	5		4		
シジュウカラ	ヒガラ	443						
シジュウカラ	シジュウカラ	445	1	1	1	2		
ツバメ	ツバメ	457						
ツバメ	コシアカツバメ	459						
ツバメ	イワツバメ	461						
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	30	10	37	23		
ウグイス	ウグイス	464	2	2	1	4		

科名	種名	年 月 日	2021			2022		
			10	11	12	10	11	12
			23	27	25	22	26	24
回数 No	No	く	ほ	く	く	ほ	く	
		ろ	し	ろ	ろ	し	ろ	
		ど	だ	んど	んど	だ	んど	
		253 モニ	254	255	260	261	262	
ウグイス	ヤブサメ	465						
エナガ	エナガ	466	11	1	5	15		
ムシクイ	オオムシクイ	476						
ムシクイ	メボソムシクイ	477						
ムシクイ	エソムシクイ	479						
ムシクイ	センダイムシクイ	480						
メジロ	メジロ	485	11	16	10	30		
ヨシキリ	オオヨシキリ	492						
レンジャク	キレンジャク	500						
レンジャク	ヒレンジャク	501						
ミソサザイ	ミソサザイ	504						
ムクドリ	ムクドリ	506						
ムクドリ	コムクドリ	508						
カワガラス	カワガラス	512						
ヒタキ	トラツグミ	514						
ヒタキ	マミチャジナイ	520						
ヒタキ	シロハラ	521		1	2			
ヒタキ	アカハラ	522						
ヒタキ	ツグミ	525						
ヒタキ	コマドリ	530						
ヒタキ	ルリビタキ	536		4				
ヒタキ	ジョウビタキ	540		5	2			
ヒタキ	ノビタキ	542						
ヒタキ	イソヒヨドリ	549						
ヒタキ	エゾビタキ	552				1		
ヒタキ	サメビタキ	553						
ヒタキ	コサメビタキ	554				1		
ヒタキ	キビタキ	558	1			5		
ヒタキ	ムギマキ	559				3		
ヒタキ	オオルリ	561						
イワヒバリ	カヤクグリ	566						
スズメ	ニューナイスズメ	568						
スズメ	スズメ	569		1				
セキレイ	キセキレイ	573	1	1	1	1		
セキレイ	ハクセキレイ	574		3				
セキレイ	セグロセキレイ	575		5				
セキレイ	ビンズイ	580						
アトリ	アトリ	586				5		
アトリ	カワラヒワ	587			2			
アトリ	マヒワ	588						
アトリ	ベニマシコ	592						
アトリ	ウソ	599						
アトリ	シメ	600						
アトリ	イカル	602						
ホオジロ	ホオジロ	610						
ホオジロ	カシラダカ	617						
ホオジロ	ミヤマホオジロ	618						
ホオジロ	アオジ	624			7			
ホオジロ	クロジ	625			2			
キジ	コジュケイ							
ハト	カワラハト(トハト)				5			
チメドリ	ソウシチョウ		2		1	7		
	ムシクイSP							
	タカSP							
	マルガモ			1				
観察種数合計			14	19	18	20		
個体数			89	71	94	118		
天候			晴	晴時々雨	晴時々曇	晴		
参加者			4	11	11	16		